

## 監 査 論

### 本試験

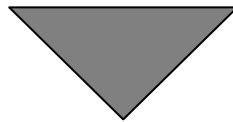
**問題 11** 我が国における一般に公正妥当と認められる監査の基準に関する次の記述のうち、正しいものの組合せとして最も適切な番号を一つ選びなさい。（5 点）

～ 略 ～

ウ. かつて、監査基準は、監査実務の中に慣習として発達したもののなかから、一般に公正妥当と認められたところを帰納要約した原則であると述べられていた。現在の監査基準の設定においては、監査基準は、国際的な議論の動向や、日本の公認会計士監査をより実効性のあるものとする観点から改訂されることもある。

《解答 11》

ウ. 正 平成 14 年監査基準の改訂について 21



### 短答ポイントアップ答練 第 2 回

**問題 5** 我が国の企業会計審議会が公表する「監査基準」に関する次のア～エの記述のうち、正しいものが二つある。その記号の組合せの番号を一つ選びなさい。（5 点）

～ 略 ～

エ. 監査基準は、監査実務の中に慣習として発達したもののなかから、一般に公正妥当と認められたところを帰納要約した原則であり、演繹的な側面は持ち合わせていない。

《解答 5》

エ. 誤 監査基準は、監査実務の中に慣習として発達したもののなかから、一般に公正妥当と認められたところを帰納要約した原則である（昭和 31 年監査基準の設定について）が、平成 3 年の監査基準改訂の際にリスク・アプローチが採用されたように、新たな監査実務を創造するという演繹的な側面も持ち合わせている。